

入学試験日程

日本大学松戸歯学部

平成30年	
AO入学試験(第1期)	9月 1日(土)
校友子女入学試験(第1期)	9月 1日(土)
一般高等学校指定校制推薦入学試験	11月10日(土)
一般高等学校公募制推薦入学試験	11月10日(土)
日本大学推薦入試(付属高等学校等) 基礎学力選抜	11月10日(土)
日本大学推薦入試(付属高等学校等) 付属特別選抜	11月10日(土)
編入学試験	11月10日(土)

平成31年	
一般入学試験C方式(大学入試センター試験を利用した試験)	第1期 出願締切1月19日(土) ※1月19日(土)、1月20日(日)の大学入試センター試験を受験のこと
	第2期 出願締切2月22日(金)

AO入学試験(第2期)	1月12日(土)
校友子女入学試験(第2期)	1月12日(土)
一般入学試験N方式(第1期)	2月 1日(金)
一般入学試験A方式(第1期)	2月 4日(月)
一般入学試験A方式(第2期)	3月 4日(月)

大学院松戸歯学研究科

平成30年	
大学院松戸歯学研究科入学試験(一般・社会人)(第1期)	9月 8日(土)
大学院松戸歯学研究科外国人留学生入学試験	11月17日(土)

平成31年	
大学院松戸歯学研究科入学試験(一般・社会人)(第2期)	2月 9日(土)

【お問い合わせ先】

- 進学相談に関すること 教務課(入試係) TEL:047-360-9339 E-mail:mas.kyomu@nihon-u.ac.jp
 - オープンキャンパスに関すること 庶務課 TEL:047-360-9567
- ※個別に学校見学を希望される場合は庶務課(047-360-9567)までお問い合わせください。

日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

平成30年	
AO入学試験(エントリー審査日)(第1期)	7月21日(土)
一般高等学校指定校制推薦入学試験	10月 6日(土)
一般高等学校公募制推薦入学試験(第1期)	10月 6日(土)
付属高等学校等推薦入学試験	10月 6日(土)
AO入学試験(エントリー審査日)(第2期)	11月17日(土)
一般入学試験(第1期)	12月15日(土)
社会人入学試験(第1期)	12月15日(土)
一般高等学校公募制推薦入学試験(第2期)	12月15日(土)

平成31年	
一般入学試験(第2期)	2月23日(土)
社会人入学試験(第2期)	2月23日(土)

注:ただし、平成30年12月26日(水)までに、総募集人数(40名)を満たしている場合は、2期試験は実施しない。

【お問い合わせ先】

教務課(附属歯科衛生専門学校) TEL:047-360-9206 E-mail:mas-dh.md.ml@nihon-u.ac.jp



日本大学松戸歯学部
HP <http://www.mascat.nihon-u.ac.jp/>



〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL047-368-6111(代表) FAX047-364-6295

日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
HP <http://www.mascat.nihon-u.ac.jp/college>



オープンキャンパス日程

- 第1回 6月10日(日)10:00~15:00(予定)
- 第2回 7月 8日(日)10:00~15:00(予定)
- 第3回 8月19日(日)10:00~15:00(予定)
- 第4回 10月20日(土)10:00~15:00(予定)

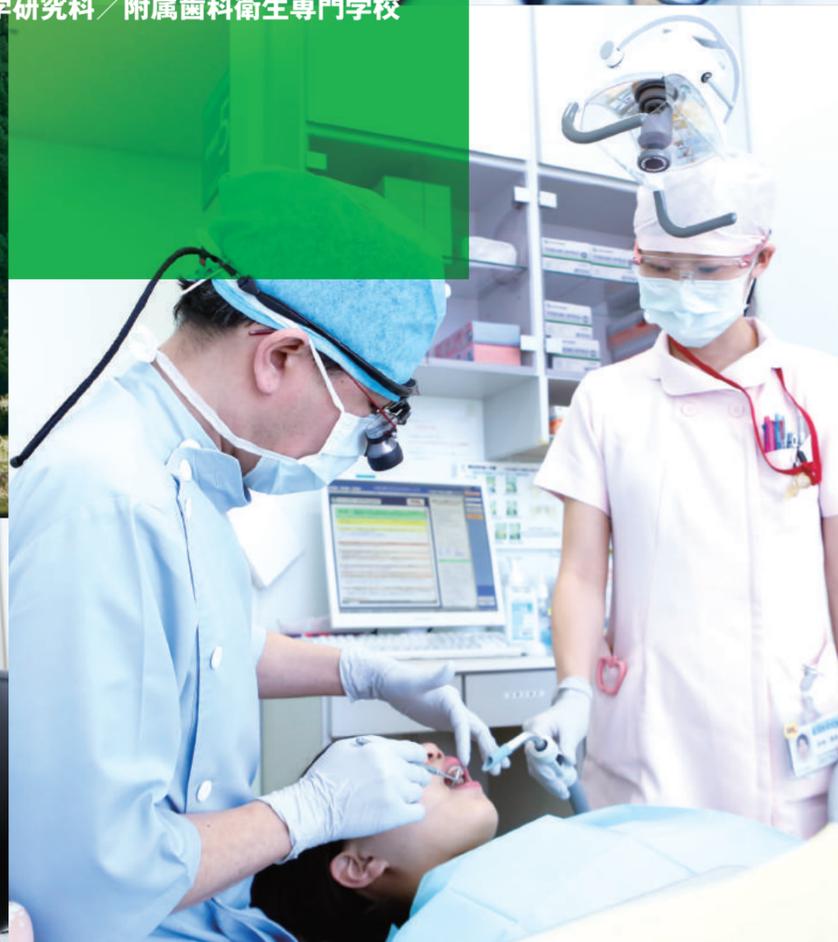
※キャンパスツアー日程はP38参照



Guide Book
2019



日本大学松戸歯学部
大学院松戸歯学研究科/附属歯科衛生専門学校





日本大学教育憲章

日本大学マインド

- 日本の特質を理解し伝える力
- 多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力
- 社会に貢献する姿勢

教育理念 自主創造

- | | | |
|---|--|---|
| 自ら学ぶ
○豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
○世界の現状を理解し、説明する力 | 自ら考える
○論理的・批判的思考力
○問題発見・解決力 | 自ら道をひらく
○挑戦力
○コミュニケーション力
○リーダーシップ・協働力
○省察力 |
|---|--|---|

松戸歯学部 三つのポリシー

1 ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針, DP)

松戸歯学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」および「自ら道をひらく」能力を身につけ、松戸歯学部の教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し、以下の到達目標に達した者に学士(歯学)の学位を授与する。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 自ら学ぶ
○豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 | DP1. 幅広い教養と豊かな人間性に基づく高い倫理観を持ち、医療の中での役割を認識して社会に貢献できる。 |
| ○世界の現状を理解し、説明する力 | DP2. 国際社会における歯科医学や医療の現状を理解し、その多様性について説明できる。 |
| 自ら考える
○論理的・批判的思考力 | DP3. 歯科医学の研鑽によって得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。 |
| ○問題発見・解決力 | DP4. 自ら能動的に課題を発見し、歯科医学の知識に基づく問題解決ができる。 |
| 自ら道をひらく
○挑戦力 | DP5. 医療人として新しいことに挑戦し、自らの道を切りひらくことができる。 |
| ○コミュニケーション力 | DP6. 歯科医療に必要なコミュニケーション力を有し、かつ実践できる。 |
| ○リーダーシップ・協働力 | DP7. 地域社会における保健、医療、福祉および介護などに貢献するために必要な多職種の医療・福祉従事者と連携、協働が支障することができ。 |
| ○省察力 | DP8. 生涯にわたり謙虚に自己を見つめ、自己分析の習慣を身に付け、医療人としての資質を高めることができる。 |

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針, CP)

松戸歯学部のディプロマ・ポリシーに示す能力を所定の年限で修得するために必要な学修領域として、一般教養、医療行動科学、基礎歯科医学、社会系歯科医学、臨床歯科医学、隣接医学の各領域で構成される体系的なカリキュラムを配置し、以下の方針に基づいた教育プログラムを実施する。また、各授業科目の学修方法、学修過程、学修成果の評価の方法、評価基準をシラバスに明示し、学生に周知する。学修成果の評価に関しては、授業形態に即し、適正かつ厳格に実施する。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 自ら学ぶ
○豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 | CP1. 一般教養、全学共通初年次教育および医療行動科学領域を通じて、自然科学、人文社会科学への深い理解と医療人としての基礎となるプロフェッショナリズムを育成する。 |
| ○世界の現状を理解し、説明する力 | CP2. 海外研修や海外研究者との交流を通じて、国内外の歯科医療の現状を理解し、国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。 |
| 自ら考える
○論理的・批判的思考力 | CP3. 基礎歯科医学領域と社会系歯科医学領域を通じて、論理的思考力を育み、自ら学ぶ学修態度によって知識を修得する能力を育成する。 |
| ○問題発見・解決力 | CP4. 基礎歯科医学と臨床歯科医学の連携により、研究マインドに必要な探求心と問題解決能力を育成する。 |
| 自ら道をひらく
○挑戦力 | CP5. 臨床歯科医学領域と隣接医学領域の連携を基に、充実した臨床実習環境の活用によって診療参加型臨床実習を実践し、患者中心の医療倫理、態度及び基本的な臨床技能とコミュニケーション能力を育成する。 |
| ○コミュニケーション力 | CP6. 医療行動科学領域を通じて、対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を育成する。 |
| ○リーダーシップ・協働力 | CP7. 地域医療実習等を通じて、多職種医療・福祉従事者と協働する必要性を自覚し、健康長寿社会に貢献する能力を育成する。 |
| ○省察力 | CP8. 初年次教育から臨床歯科医学および隣接医学に至る学修を通じて、常に振り返りを行いながら自己の向上を図る必要性を理解し、医療人として生涯にわたって学ぶ姿勢を育成する。 |

3 アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針, AP)

本学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、以下の資質を持つ人を受け入れる。

- | | |
|---|--|
| AP1. 歯科医学を通じて社会に貢献する志を有する人。 | AP4. 他人に対する思いやりを持ち、社会的責任感が強く、多様な価値を受容する寛容性と奉仕の精神を備えている人。 |
| AP2. 歯科医学を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を兼ね備えている人。 | AP5. 諦めない心で歯科医学を探索し、目標や意義を見出すために振り返りができる人。 |
| AP3. 自主的に学ぶ姿勢と創造性に富み、論理的で柔軟な思考力を有する人。 | |

CONTENTS

学びの「チャンス」	03
世界で活躍する卒業生	05
学部長メッセージ	07
沿革	08
教育システム	09
教員メッセージ	15
大学院松戸歯学研究科	17
附属病院	19
キャンパスマップ	21
年間スケジュール	22
松戸の街紹介	23
海外留学制度	24
クラブ活動	25
入学試験情報	27
附属歯科衛生専門学校	33
Q & A	37
オープンキャンパス・キャンパスツアー/アクセス	38

日本大学の目的および使命

- 日本大学は 日本精神にもとづき
- 道統をたつとび 憲章にしたがい
- 自主創造の気風をやしな
- 文化の進展をはかり
- 世界の平和と人類の福祉とに
- 寄与することを目的とする

- 日本大学は 広く知識を世界にもとめて
- 深遠な学術を研究し
- 心身ともに健全な文化人を
- 育成することを使命とする

学びのチャンス

chance!!

今、新しい世代の歯科医師が求められています。

“社会に歯科医師が余っている”というイメージが一部マスコミの報道により広がっていますが、それは偏った見方といえます。なぜなら、少子化に伴い本格的な超高齢社会に突入しているからです。今、歯科医師を志す皆さんが教育を受け終えた頃には、多くの歯科医師は引退の世代となり、歯科医師不足により、需要が高くなると予想できます。

また、これからの歯科医師は虫歯を治療するだけでなく、口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、ますます重要となってきます。日本大学松戸歯学部は歯科学を「口腔科学(Oral Science)」と捉え、医学の一分科としての教育を行っています。歯科医師の仕事は“口腔の専門医”として大きな広がりを持ち、希望や、やりがいにあふれています。

さあ、歯科医師になるには、今がチャンスなのときなのです。



日本大学松戸歯学部創設50周年記念キャッチフレーズ

50年の絆、今あらたに噛みしめて。

chance!!

口腔科学 (Oral Science)



松戸歯学部の強み

全国の歯学部附属病院の中でもトップクラスの患者数の附属病院での臨床実習。

指導医、患者さん、医療スタッフとかわりながら治療に参加します。全国歯学部附属病院の中でもトップクラスの患者数の附属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身につけることができます。

また、実習の舞台となる附属病院は、歯科大学附属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身につけ即戦力となる歯科医師を育成します。

6年間の「医療行動科学」でプロ意識修得。

患者さんの声に耳を傾けその思いをくみ取って適切な説明、治療ができるように講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。

“落ち着いた環境”での勉学と生活。

本学部がある千葉県松戸市は、都心からのアクセスがとても良い場所にあります。緑あふれる環境で6年間を勉学に励み、広大なグラウンドや体育館でクラブ活動等に精を出すことができます。

教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援。

担当教員との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫など適切なアドバイスを学生一人一人に行います。

歯科医師への第一歩は、軽井沢での友人づくりから。

入学後、新緑あふれる日本大学軽井沢研修所にて実施される2泊3日の新入生オリエンテーションを通じて、歯科医師を目指す心構えを身につけるとともに、6年間共に過ごす友人やクラス担任との交流を深めます。

世界で活躍する卒業生

chance!!
01



Kohtaro Fujihashi

無限の可能性を探せ！

私は卒業後、開業医を目指し小児歯科学教室に研究生として在籍していました。しかし、その年の秋にはアラバマ大学バーミングハム校(UAB)に留学し、粘膜免疫の勉強をする機会をいただきました。ここで研究への興味を持ち、UABの歯学部小児歯科学教室の教授として、歯科基礎はもちろん、高齢者のための粘膜ワクチン開発に向けた研究をしていました。

皆さんは、受験の難関を通り抜け、必要な知識と技術を取得し歯科医師を目指します。卒業後は、開業医として地域医療に貢献し、健康な社会の発展に携わることは歯科医師としての重要な役割です。しかし、教育者・研究者として大学や研究機関で働くこともできます。厚労省などに進み、国の歯科医療の構築や発展を目指して働くこともできます。私のように全く関係の無い医療分野の研究に携わることもできます。皆さんは限りない可能性を秘めています。

歯科医師になった後どの道を進むべきかを模索しつつ、入学後の6年間を有意義に過ごしてください。

藤橋 浩太郎

【10期生】
東京大学医学研究所国際粘膜ワクチン開発研究センター
臨床ワクチン学分野 特任教授

chance!!
03



Takanari Miyamoto

世界で通用する 歯科医師へ。

私は1994年に日本大学櫻丘高校を卒業し同年、日本大学松戸歯学部に入學しました。その後ボストン大学大学院に進学し、現在はアメリカネブラスカ州のクレイトン大学で主任教授として学生教育や研究に携わっております。

日本で歯科医師といえば、「歯科医師過剰問題」など様々な問題がとり挙げられているようです。しかし、世界に目を向けると、歯科医師という仕事は健康を追求し、多くの方々の生活のクオリティーを向上することができる、魅力的で社会から尊敬されている重要な職業のひとつと位置づけられています。

在学中から感じていたのですが、松戸歯学部はグローバルな視点から非常にユニークな歯科医学教育を行っています。卒業後海外で活躍している卒業生も、数多くいます。

受験生の皆様には、歯科医師という職業をグローバルな視点から考えていただけたらと思います。

宮本 貴成

【24期生】
アメリカクレイトン大学歯周病科 主任教授

chance!!
02

医学の一分野としての歯科学を追求して

歯科学は、歯や歯茎(歯周組織)の病気だけではなく、口、顎(がく、あご)、顔面並びにその隣接組織に現れる先天的、後天的な病気を基礎的に、また臨床的に学ぶ学問です。この領域の異常は、食事をしたり、しゃべったりすることが上手にできなくなるなどの機能障害や美容的な障害、すなわち人間としての最も重要な「社会性」の喪失を来してしまいます。にもかかわらず、なぜ、歯科だけが医学とは別扱いで「歯学」なのでしょう。

これまでの歯科医療は、歯とその周囲組織を中心とし、全身とは切り離された医療として実践されてきました。それにより歯科医療は「材料による疾患の治療」という側面が強調されることとなり、一般の医療とは異なるものとなっていったと考えられます。歯科医療が歯とその周辺に局限した組織を対象としていた時代では、歯科が一般医学から独立して教育、診療が行われていたからこそ「進歩」したことも多く、歯科医学が歯学として医学とは別体系であることのこれまでの意義は否定しません。しかし、自然科学の急速な発展に伴って変化した社会生活、思考、疾病構造などに調和したこれからの歯科医学は歯学ではなく、「医学の一分野としての歯科」という医療体系へ変化しなければならないと考えています。

このような考え方は、在学中に「口腔科学」を根拠に置いた様々な講義を受ける中で、私の中に自然に培われていったように思います。そして、卒業後も一貫して「医学の中の歯科学」を追求して今日に至っています。私の専門は口腔外科学ですが、歯学の中の口腔外科という狭い足え方ではなく、日本大学松戸歯学部へ入学される皆さんは、医学の中の歯科学、口腔科学を根拠に置き、広い視野で患者を診ることのできる歯科医師、口腔科医師になって欲しいと思います。

横尾 聡

【11期生】
群馬大学大学院医学系研究科
口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座 教授



Satoshi Yokoo

自分流の道を切り拓ける 人生観を培う

chance!!
04

「自立できる自分でありたい!」と思い、希望に満ちて松戸歯学部に入學したのは1993年の春でした。松戸歯学部では、教養から臨床まで一連の流れで教育を受けることができました。最新のトピックスを盛り込んだ生きた講義は、卒業後の進路決定にも大いに役立ちました。私は、口腔外科に興味を持ち、卒業後、東京大学医学部口腔外科で2年間の研修を行いました。そして、東京大学大学院に進学し、医学博士を取得後、米国コーネル大学医学部で研究員として3年半の研究生活を送りました。帰国後は、口腔外科医として邁進すべく手術と実験に明け暮れる充実した日々を過ごしております。

常に前を向き、じっくり腰を据えて諦めず何事にも取り組む姿勢は、大学生活で培ったものだと思います。グローバル社会に向けて学生主導型の教育を行う松戸歯学部は、日本に留まらず世界に通用する人材を育成する学部だと確信しております。また、かけがえのない友人を持てたことや卒業後も縦の繋がりがあがり様々な場面で支えていただけたのは松戸歯学部だからこそだと思います。

受験生には夢に向かって大きな一歩を踏み出し、自分流の道を切り拓いて行っていただきたいです。

古賀(旧姓 河瀬) 陽子

【23期生】
東京医科大学口腔外科学分野 准教授



Yoko Koga

松戸歯学部

学部長メッセージ

歯科医学を通じて広く社会に貢献できる歯科医師を育みます

松戸歯学部は2021年に創設50周年を迎えます。1971年の開学以来、国民の歯科医療及び歯科医学に貢献できる人材を数多く輩出してきました。

この間、歯科学を「口腔科学(Oral Science)」と捉え、医学の一分科としての教育を行ってきました。現在いわれている口腔の健康は全身の健康につながることや医科歯科連携、包括医療とよばれるシステムの先駆的概念です。また、本学部附属病院は施設及び来院患者数において国内有数規模にあり、千葉県西北部の歯科医療の一翼を担い準都市型と呼べる歯学部とも言えます。その臨床の基本は「一口腔一単位」とともに、1本の歯牙への治療は全身に影響を与えているということを常に考えて行うことにあります。医学部をもつ総合大学の利点を生かしながら、医師と連携できる知識能力を有する歯科医師の育成を目指しています。

現在、日本は世界でどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えました。高齢者の健康寿命延伸のためには「口腔の健康」維持がきわめて重要になっています。それを支えるのが歯科医師です。歯科医師は口腔に関わるスペシャリストです。歯科医師は人間にとって生きるための「食」を支える重要臓器に関わる専門医にほかなりません。

日本大学松戸歯学部では、日本大学教育憲章にある「自主創造」の「自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく」を根幹として教育を行っています。将来を自ら開拓し、歯科医学・歯科医療を通じて社会に貢献できる目的意識の高い意欲のある、人間性豊かな歯科医師の育成に努めています。



日本大学松戸歯学部 学部長
しまたに こう
渋谷 鑠
日本大学教授(歯科麻酔学)

沿革

- | | | | |
|--------------|--|--------------|---------------------------------|
| 昭和46年(1971年) | 日本大学総長鈴木勝の構想により、日本大学松戸歯科大学開学
初代学長 鈴木勝就任
附属歯科病院開設 | 平成 5年(1993年) | 第25回全日本歯科学学生総合体育大会
総合優勝 |
| 昭和48年(1973年) | 体育館竣工 | 平成 7年(1995年) | MASCAT(学内LAN)センター室設置 |
| 昭和49年(1974年) | 附属歯科衛生専門学校開校
口腔科学研究所設置 | 平成10年(1998年) | マルチメディア歯科教育システム導入
松戸歯学部後援会発足 |
| 昭和50年(1975年) | 学術雑誌「日大口腔科学」創刊 | 平成13年(2001年) | 創設30周年記念式典・祝賀会 |
| 昭和51年(1976年) | 日本大学松戸歯学部と改称
動物実験研究センター・アイソトープ
研究センター竣工 | 平成15年(2003年) | 第35回全日本歯科学学生総合体育大会
総合優勝 |
| 昭和52年(1977年) | 大学院松戸歯学研究科設置 | 平成16年(2004年) | 第36回全日本歯科学学生総合体育大会
総合優勝 |
| 昭和57年(1982年) | 組換えDNA実験施設設置
(第4共同研究室内) | 平成18年(2006年) | 新病院棟竣工、
日本大学松戸歯学部附属病院と改称 |
| 平成 元年(1989年) | 日本大学創立100周年記念松戸歯学部
国際シンポジウム開催 | 平成23年(2011年) | 創設40周年記念式典・特別講演会 |
| 平成 3年(1991年) | 創設20周年記念式典・祝賀会 | 平成27年(2015年) | 第47回全日本歯科学学生総合体育大会
総合優勝 |
| 平成 4年(1992年) | 第24回全日本歯科学学生総合体育大会
総合優勝 | | |





診療参加型臨床実習を实践するSD (Student Doctor) 診療室

平成25年4月から5年次臨床実習において、診療参加型臨床実習を实践するSD診療室が開設されました。学生は、SDとしての自覚を持って、指導医と共に患者さんの診療マネージメントを行い、治療技術やコミュニケーション能力と知識の向上を図っています。

Feature

6年間の教育の特色

歯科学を「口腔科学 (Oral Science)」と捉え、医学の一分科として教育

超高齢社会を迎えた日本の歯科医療は、う蝕や歯周病などの疾患型の治療にとどまらず、口腔の健康を保持増進して全身の健康維持や健康長寿の延伸に繋げることに大きな期待が寄せられています。松戸歯学部は創設当時から、歯科学を「口腔科学 (Oral Science)」と捉え、医学の一分科としての教育を展開しており、医療人の人格を備えた全人的な歯科医師の育成をめざしています。取り組みの一つとして、基礎歯科医学

と基礎医学の「学問体系別講義」と、1つのテーマにさまざまな専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また、各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し、一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることのできる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。

[6年間の教育イメージ図]



学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」と学生の学修を支援する教育システムを構築

患者さんの健康を預かる歯科医師を教育する現場において、学生教育の質を常に高めていくことは非常に重要です。松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し、教員・職員・学生が三位一体となり、学生の学修を支援する教育システムを構築するとともに、学生の成績等のデータを収集し、それに基づいた教材を作成して学生に提供し、苦手分野の克服を目指しています。また、学生一人ひとりの「学修カルテ」を作成し、全ての試験成績に基づいて分析したデータを個別指導の時に学生にフィードバックして、学びを確実に進められるようきめ細やかなサポートを行っています。

地域歯科医療の中核を担う付属病院で優れた臨床能力と人格を身につける

松戸歯学部の学生が臨床実習を行う場は、最新のCT、MRI、血管造影装置など診療機器や国内初の電子カルテを導入した日本大学松戸歯学部付属病院です。同病院は地域における歯科医療の中核的な役割を担っている上、厚生労働省から歯周病関連の高度先進医療機関として認定を受けています。全国歯学部付属病院の中でもトップクラスの来院者数の付属病院での実習を通して専門知識や技術のみならず、患者さんに対する思いやりや奉仕的精神をしっかりと身につけ、即戦力となる優れた臨床能力と人格を備えた歯科医師の育成を目指します。

学びの領域

1 年次	2 年次	3 年次
<p>医療行動科学領域</p> <p>歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を、1年次から6年次まで一貫して学びます。授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけでなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。</p>	<p>基礎形態機能学領域</p> <p>「歯の解剖学」*「解剖学」「生理学」など歯科医師になるために必要となる基本的な科目を中心に、生体の構造や機能について幅広い医学知識を修得します。 *「歯の解剖学」は1年次に履修</p>	<p>医療行動科学5・6 患者－医療者関係学／医療人間学</p> <p>3年次は、患者と医療者のあるべき関係について深く考え、付属病院における「患者付添実習」を通して自らが取るべき行動指針について学びます。</p>
<p>教養系領域 (教養・外国語・保健体育・準備教育)</p> <p>歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設けています。外国語科目は「英語」「ドイツ語」が必修となっています。準備教育科目の「数学」では、パソコンを利用した情報の処理方法や化学レポートの作成法を学修。「物理学」「化学」「生物学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行っています。</p>	<p>分子生物学領域</p>	<p>病態基礎医学領域</p> <p>病気の実態を解明するための「細菌学」「病理学」を学び、実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けて基礎知識を身につけます。</p>
<p>歯科医学総合講義領域 1～3</p>		<p>臨床歯科医学領域・社会系歯科医学領域</p> <p>からだ全体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めていきます。さまざまな歯科疾患とその治療法を学び、多様な医療対応を修得します。さらに、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学びます。</p>
		<p>「生化学」「薬理学」などを介して、からだの器官や組織、細胞レベルの機能や生体と薬物との相互作用を学び、からだ全体についての医学的知識を培います。講義と実習を組み合わせることで、知識と実践の両方を伴った医学・歯科医学の基礎を身につけます。</p>
		<p>各学年で学ぶべき知識・技術が確実に修得されているかを再確認することを目的とした科目で、講義と試験で構成されています。試験結果は個人ごとにデータベース化され、重点課題を明確にした学修目標を定めることによって、確実なステップアップが図れます。</p>

特色ある科目

自主創造の基礎 1・2

日本大学の教育理念である自主創造は、知的好奇心を持ち、自らが課題に取り組み、新しい道を切りひらくことです。日本大学では、学生一人ひとりが「自主性」と「創造性」に根ざした「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指し、全学共通初年次教育科目として設置されています。そのために1年次では「自主」性を涵養し、「創造」性への導入を目指した「自主創造の基礎(初年次教育科目)」を展開しています。松戸歯学部で求められる学修技法や将来の良き社会人に繋がる学修のあり方について学びます。



医療行動科学 1・2 (歯科医学概論/医学・歯科医学史)

「なぜ歯科医師になるのか」というテーマを自分自身に向けて問いかけることからスタートし、歯科医療の現場を早期に体験します。歯科医師の仕事の厳しさや役割の重さ、やりがいを実際に目の当たりにし、歯科医師になることへのモチベーションを高めます。講義では「プロフェッショナリズム(世界レベルで提案されている医療行動指針)」や僧侶による「スピリチュアルと医療」、演習では「ポートフォリオ(自分の考えや行動を自己認識し振り返る)」や「医療体験(付属病院の見学、診療所訪問研修、歯科検診の体験)」など多彩な科目を設けています。



医療行動科学 3・4 (医療倫理学/医療心理学)

医療人として身につけるべき医療倫理と患者の心や行動を理解するための医療心理学についてTBLで学びます。TBL (Team Based Learning) は「チーム基盤型学修」のことです。学生が自主的に学修して授業の準備をします。1つのテーマに対して、グループに分かれて文献検索、分析、まとめることで、授業を行います。主に学生同士の質疑応答で授業は進行します。

栄養学

健康と栄養の密接な関係について、歯科領域から、食育(さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること)に対するアプローチを探索し、学びを深めます。



Message 1・2年次の学びについて

大塚 洋平 さん



1年次では教養科目である数学や物理学、生物学、化学、英語、ドイツ語などを学びました。各科目の先生方が優しく丁寧に教えてくださったので、高校で文系のコースだった私もしっかりと知識を身につけることができました。

2年次では基礎医学である解剖学や組織学、生理学、生化学、細菌学などを学びました。一番印象に残った授業は、2年次の後期に行う「解剖実習」です。人体の骨、筋肉、血管、神経、各臓器について学べたことは大変貴重な体験であり、1・2年次で基礎医学を履修したことは、知識はもちろんのこと、歯科医師になる者としての心構えや人間の尊厳を学ぶことができたと考えています。このことは、歯科医学のプロフェッショナルになるために必ず生きてくると考えています。

Message 3年次の学びについて

鈴木 昇建 さん



「歯は何を使って削っているのだろうか?」「虫歯はどうやってきれいに治しているのだろうか?」と一度は疑問に思ったことがあると思います。3年次では、そんな疑問が解決します。2年次まで学んだ基礎歯科医学を応用して、「歯科医師らしい科目」である臨床歯科医学領域を勉強するからです。実際に歯を器具で削ったり、削ったところをきれいに治したり入れ歯を作ったりする授業や実習を行います。自分が製作した入れ歯やかぶせものが完成した時の達成感は最高でした。3年次ではとにかく手を動かす実習が多いのが特長です。授業や実習時間も増え毎日が新しいことばかりで、大変な時期もあります。しかし、今まで知らなかったことを理解できた時や自分で出来るようになった時にとてもやりがいを感じられました。3年次の1年間での学びによって「自分は歯科医師になるのだ」という自覚がさらに強くなりました。

学びの領域

特色ある科目

4年次	共用試験 (CBT OSCE)	5年次	OSCAT (臨床能力到達試験)	6年次	歯科医師国家試験
<p>医療行動科学7・8 医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学</p> <p>4年次は、医療面接を通して、医療情報を収集し、最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや患者と良好な信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学びます。</p>		<p>臨床実習領域</p> <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p>		<p>医療行動科学9</p> <p>6年次は、生涯学が必要な歯科医師が、歯科医学を学ぶ科学者として備えておくべき研究マインドの育成を図ります。</p>	
<p>総合医学領域</p> <p>5年次に行われる臨床実習前に、内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び、歯科学を医学の一分科として捉える「口腔科学(Oral Science)」を展開し、実践するための知識・技術を、統合型講義によって身につけます。</p> 		<p>臨床実習領域</p> <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p>			
<p>臨床歯科医学領域・社会系歯科医学領域</p> <p>からだ全体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めていきます。さまざまな歯科疾患とその治療法を学び、多様な医療対応を修得します。さらに、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学びます。</p>		<p>臨床実習領域</p> <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p>		<p>医療行動科学9</p> <p>6年次は、生涯学が必要な歯科医師が、歯科医学を学ぶ科学者として備えておくべき研究マインドの育成を図ります。</p>	
<p>歯科医学総合講義4</p> <p>1～4年次までに学修した自然科学分野、基礎歯科医学分野及び臨床歯科医学分野の知識を整理・深化、統合し、その学修成果の評価の一つである共用試験合格を目指します。</p>		<p>臨床実習領域</p> <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p>		<p>医療行動科学9</p> <p>6年次は、生涯学が必要な歯科医師が、歯科医学を学ぶ科学者として備えておくべき研究マインドの育成を図ります。</p>	
<p>歯科医学総合講義5・6</p> <p>松戸歯学部の講義や臨床実習を通して学んだ知識を6年間の総まとめとして科目横断的な統合的かつ専門的な講義を通して知識の修得を確実なものとし、歯科医師国家試験合格を目指します。</p>		<p>臨床実習領域</p> <p>臨床実習は、電子カルテシステムなど、さまざまな最新設備が整備された隣接の付属病院で実施されます。指導医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと実際に接することによって、技術だけでなくとどまらず、歯科医師としての態度も学び、職業意識を培う機会にもなります。</p>		<p>医療行動科学9</p> <p>6年次は、生涯学が必要な歯科医師が、歯科医学を学ぶ科学者として備えておくべき研究マインドの育成を図ります。</p>	

<p>障害者歯科学</p> <p>「障害者歯科学」の専門講座を開設している本学部では、障がいを持った患者さんに対する歯科医療にも力を入れています。摂食・嚥下(えんげ)機能障害を有する患者さんの全身疾患への理解を深めるとともに、社会歯科学的背景を理解し課題解決のための知識・技術を修得します。</p>		<p>学修スペースについて</p> <p>松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。学修スペースとして図書館の他に学生セミナー室も完備され、さらに学生同士が知識を深め合いながらグループ学修ができるよう午後5時以降は学生食堂を学修スペースとして開放しています。学内では、多くの学生がこれらの学修スペースを利用し、毎日の講義・実習の復習や試験に向けて大学に残って勉強しています。</p> 		<p>診療参加型臨床実習 (SD 診療)</p> <p>付属病院を受診する患者さんの治療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医によるマンツーマン形式で行われますが、患者さんの初診時医療面接と応急処置に始まり、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明までを学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、実体験を通して患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。</p>		<p>課題別臨床実習</p> <p>各診療科が設置したコースから興味を持ったコースを選択できるシステムで、より専門的な知識・技術の修得が可能です。</p>	
<p>共用試験 (CBT・OSCE)</p> <p>「共用試験」は、実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身につけているかを判断する試験で、臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと、態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり、この試験に合格すると5年次に進級し、臨床実習に進むことができます。</p>		<p>学修スペースについて</p> <p>松戸歯学部では学修支援の一環として学修スペースの充実を図っています。学修スペースとして図書館の他に学生セミナー室も完備され、さらに学生同士が知識を深め合いながらグループ学修ができるよう午後5時以降は学生食堂を学修スペースとして開放しています。学内では、多くの学生がこれらの学修スペースを利用し、毎日の講義・実習の復習や試験に向けて大学に残って勉強しています。</p> 		<p>OSCAT (臨床能力到達試験)</p> <p>5年次の臨床実習の総括として、複数の診療科で課題を受験し評価を受けます。これによって各々の臨床能力到達度を確認することができます。</p>		<p>歯科医学総合講義6</p> <p>診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師になれるよう実習と講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。</p> 	

Message

4年次の学びについて

山田 彩加 さん



4年次になると3年次までの勉強に加えて、臨床科目の授業が増えて、より一層専門的な分野の講義や実習を行います。私が特に興味深く感じた講義の一つに「総合医学」があります。この講義を通して医学領域について広く学ぶことができ、松戸歯学部の教育ビジョンである「口腔科学(Oral Science)」を実感することができました。また、歯科医学総合講義4では、4年次終了時に行われる共用試験(CBTとOSCE)に向けて、今までの知識を総復習する講義を受けることで、無事に合格することができました。大学では、グループ学修や自分に合った勉強法を見つけて、コツコツと学ぶことが大切です。私は4年間、クラブにも力を入れました。歯科医師という職業は、とてもハードで体力が必要だと先輩達から聞いていたからです。勉強とクラブを両立できる環境が整っていることも松戸歯学部の良いところです。

Message

5・6年次の学びについて

松村 称子 さん



5・6年次における臨床実習の最大の長所は、来院患者さんが多く、見学だけの臨床実習ではなく実際の治療に参加させてもらえる診療参加型であるということです。付属病院での臨床実習では一人ひとりに、患者さんを担当し、治療計画から単純な治療まで私たちが行います。5年次のうちから責任をもって患者さんと接することになるため、歯科医師となるためのプロフェッショナルなリズムが高まります。歯科医師国家試験に向けての歯科医学総合講義6では、先生方の親身で情熱溢れる講義が特長です。理解できなかったことに対しては、いつでもウェルカムで、学生が質問し、話し易く、またインターネット(WebClass)を通じて先生に質問することもできます。先生方から積極的な情報発信がなされるなど、時間を有効に使いながら疑問を解決し、知識を深めることができました。松戸歯学部での6年間はよく遊び、よく学んで過ごしたと思います。松戸歯学部のカリキュラムを信じて勉強すれば、必ず歯科医師国家試験に合格できると思います。皆さんの貴重な大学生活を松戸歯学部で過ごしてみてください。



**学習から学修へ
「自主創造の基礎」で
学修する力を養います**

Professional!!
01

自主創造は日本大学の教育理念で、知的好奇心をもって自ら課題を探して解決に取組み、新しい道をひらいていくことです。この科目は、自主創造を実践できるように講義・実習・演習の受講に役立つコツが学べる日本大学の全学共通初年次教育科目です。小グループに分かれての話し合いと成果発表では、学生の身近なテーマを取り上げます。下級生の講義をする教員ばかりでなく歯科臨床に携わる教員も加わり、教員・学生の交流が一層深まるほか、コンピューターリテラシーも自然に身につきます。討論と発表の体験から自ら学び新たな価値を見つける「アクティブ・ラーニング」で大学生になったことを実感できるでしょう。思考力だけでなく実行力が養えます。この科目で行われる「日本大学ワールドカフェ（通称N-Mix）」は学部の垣根を越えた一年生の出合いの機会。交流を楽しみながらコミュニケーション能力を高めます。

三枝 禎 教授
科目：自主創造の基礎・薬理学



**双方向型授業で
学びの喜びを体験する**

Professional!!
02

2年次では歯科基礎系科目を、3年次では臨床歯科医学の基礎を学びます。疾病を学ぶ病理学では、病の原因・状態、並びにこれら結び付けている過程・経過における形態変化を総合的に理解する必要があります。特に病理学2（口腔病理学）は歯科医療の方針決定や治療効果判定の根幹となる学問であり、基礎歯科医学と臨床歯科医学の“橋渡し”の役割を担っています。そこで病理学では、講義で学んだ知識が臨床で生きる醍醐味を体験することが学修の喜びにつながるよう工夫しています。Web上に公開した学修項目に沿って、要点を押さえた講義を行います。Web及び講義での学びを定着し生かすために、講義直後に行う演習・実習ではアクティブラーニングを積極的に取り入れています。クリッカーにて教員と学生の双方向コミュニケーションを図り、臨床現場を想定した症例についてグループ・ディスカッションをします。病理学を通じて学生と過ごす時間を大切にしています。

久山 佳代 教授
科目：病理学



Professional!!
03 痛みを理解できる歯科医師になろう

むし歯や歯周病で痛んだ歯や噛めなくなった歯を抜かずに再び噛むことができるように治療するのが歯科保存学です。抜かずに機能（噛むこと）を保存するという意味から「歯科保存学」と言います。むし歯の治療をする保存修復学、歯の歯髄（神経）を治療する歯内療法と歯周炎（病）を治療する歯周治療学の3分野からなります。以前は専ら治療することが主でしたが、今は予防することが進んでいます。

この分野の疾患は痛みや歯肉の腫れなど患者さんにとって辛い症状を伴う領域を担当する分野です。特に痛みは「食べられない」「夜も寝られない」など、いてもたってもいられない状態で来院されることが少なくありません。早く痛みから解放させるために、どこがどうして痛んでいるのか的確な診断が必要になります。患者さんを思う気持ちと共に基礎医学で学ぶ豊富な知識が重要です。痛みを理解することが臨床でその知識を発揮するものです。そのために信頼される歯科医師になるためのカリキュラムが組まれています。

松島 潔 教授
科目：歯内療法



Professional!!
04 臨床歯科医学の基礎を
幅広く学ぶ

3年次に履修する歯科補綴学とは失った歯や顎骨を義歯などの様々な補綴装置を用いて補い、咬合や口腔の機能を回復し患者の生活の質の維持・向上を目的とした臨床歯科医学です。歯科補綴学に関わる障害は多岐にわたり、顎関節症やブラキシズムに対する口腔内装置を用いた治療や口腔顔面痛といった新たな専門領域の研究、教育なども担当しています。歯科医師に要求される医学的知識は膨大であり、歯科医師を志す強い意志をもって“自ら学ぶ”という能動的な姿勢や体験が必要です。松戸歯学部では教育・学修総合センターを設置し、学生がいつでもどこでも“自ら学ぶ”環境を整え、ある時は個々に、またある時はチームで問題の解決に対応できるようなカリキュラムへの転換を進めています。

大久保 昌和 専任講師
科目：有床義歯補綴学



**超高齢社会に
対応できる
歯科医師になろう**

Professional!!
05

高齢者歯科学は、老化、加齢による口腔領域の変化や高齢者に特有な口腔疾患に対する、診断、予防、治療等に必要となる歯科分野のみの知識だけでなく、全身的な変化、疾患を持つ患者への歯科治療、口腔ケア等に対応するために、系統的、包括的に学修できる講義を行います。また高齢者医療で大切な、地域の歯科医院や医療機関、様々な医療従事者との多職種連携のための知識を含めて、広い範囲の知識を統合する講義を展開します。講義内容は、加齢の科学に始まり、社会環境、高齢者に多い口腔疾患、高齢者に多い全身疾患、各種診療環境（通院、入院、在宅）、高齢者と栄養、全身疾患と歯科治療、高齢者歯科と薬物、口腔機能管理、認知症高齢者の食支援と口腔ケア、摂食嚥下障害への対応、訪問診療の基本と実際と多岐にわたる内容をそれぞれの専門家を招いて講義します。超高齢社会を迎えた現在、さらに充実させていく必要がある学科目となっています。

小見山 道 教授
科目：高齢者歯科学



**Normalizationの理念に基づいた
人間力のある歯科医師に求められる
「医療の原点」**

Professional!!
06

4年次で行う障害者歯科学は何らかの配慮が必要な方々の口腔の健康に関わる研究、教育、診療を行う講座です。当講座は日本で初めて障害者歯科学を大学で開講した歴史があります。今でも独立した講座のある歯科大学は少なく、医科ではこのような講座はありません。

口は食べ物の摂取や呼吸という重要な働きを担っています。障害児者や高齢者の方々は機能が低下していることが多く、口の環境が生命の維持やQOL（Quality Of Life 生活の質）に直結します。そのため、当講座では幅広い分野の知識修得のための教育を行っており、一つの事象を様々な視点から見る能力を身につける勉強になります。このことは将来の臨床の場において、とても重要です。なぜなら今の時代、医療連携はもとより地域連携の重要性が指摘されており、「体の健康は口の健康から」ですから、歯科医師が中心となり、生じる問題を解決していかなければならない機会が増えています。今後摂食嚥下機能を中心とした口の機能が低下している障害児者や高齢者に接する機会は多くあると思われます。様々な職種と良好な関係が築ける人間力のある歯科医師を育てていくことを目標としています。

田中 陽子 専任講師
科目：障害者歯科学

大学院 松戸歯学研究科



Outline

大学院 松戸歯学研究科の概要

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在、発育発達全身疾患学系、口腔病態制御学系、組織細胞再生学系、先端材料修復学系、口腔顎脳再建学系、病態診断検査学系の6つの学系のもとに27の専攻学科目が開設されています。

大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり、様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で、追究したい専門領域を深く掘り下げ、さらに専門性を高めることができます。また在籍中には患者さんの診察も行えますので、臨床と研究を同時に進めることができます。

松戸歯学研究科では、幅広い視野を養うために、海

外との交流を活発に行っています。大学院生や教職員を対象にした、国内外の著名な研究者を招いて年間約15回開催されている特別講義もその一つです。また、大学院海外派遣奨学生制度では、年間に1名以上、1年間の派遣期間で、海外の大学や研究所で専門分野の研究をさらに深めることができます。そのほか、国内のほかの大学院や研究所においても授業科目を履修し、研究指導を受けることも可能です。もちろん、これら派遣先での研究成果や教育機関での履修実績は大学院の単位として認められます。また、国内外の学会で研究発表を行う場合は、奨学金を給付する制度も用意されており、研究活動を支える基盤があります。

教育研究上の目的

教育研究理念

自主創造の能力を養い、高い倫理観と省察力を有し、豊かな専門知識と問題解決能力に基づく研究、教育、臨床を通して、生涯に渡り人類の福祉と健康に貢献する人材を育成する。

目標

人類の福祉と健康から社会へ貢献し続けるために歯科医学の専門知識を身につけ、多様な価値、自己の立場・役割、日本の文化を理解し、高い職業倫理と世界への発信力を備えた研究・教育者、科学する力を持った臨床家を育成する。

教育方針

- ・ディプロマ・ポリシー
- ・カリキュラム・ポリシー
- ・アドミッション・ポリシー

こちらを参照ください



Curriculum

[専攻学科目一覧]

- | | | | | |
|---|---|--|--|---|
| 〈発育発達全身疾患学系〉
■ 小児歯科学
■ 歯科矯正学
■ 障害者歯科学
■ 歯科麻酔学
■ 循環病態内科学 | 〈口腔病態制御学系〉
■ 歯周治療学
■ 生化学・分子生物学
■ 微生物学・免疫学
■ 口腔分子薬理学
■ 公衆予防歯科学 | 〈口腔顎脳再建学系〉
■ 有床義歯補綴学
■ 歯冠架工義歯補綴学
■ 顎口腔機能治療学
■ 解剖人類形態学
■ 顎顔面外科学
■ 口腔外科学
■ 神経病態外科学 | 〈組織細胞再生学系〉
■ 解剖・組織・発生学
■ 細胞機能制御学
■ 歯内療法学
■ 再生歯科治療学
〈先端材料修復学系〉
■ 歯科生体材料学
■ 保存修復学 | 〈病態診断検査学系〉
■ 歯科臨床検査医学
■ 放射線学
■ 口腔診断学
■ 口腔病理学 |
|---|---|--|--|---|

レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置

AXIMA-CFRは、細胞や組織において発現しているすべてのタンパク質を、微量な検体から迅速かつ確実に、網羅的に解析・同定する装置です。島津製作所の田中耕一氏が開発に成功し、ノーベル賞を受賞されたことで知られています。タンパク質をペプチドに消化後、レーザーをあてることでイオン化させ、検出器までに届く時間の差で、多種のペプチドの質量を同時に検出し、もとのタンパク質を推定することができます。



フィールドエミッション型走査型電子顕微鏡

超高真空に保たれたナノメートルの世界を観察しているところです。歯のエナメル質の原子配列を観察し、原子の乱れからう蝕の原因を探り、医学への応用を図ることができます。松戸歯学部電子顕微鏡室には、ほかにも数台の先進的な電子顕微鏡が整備され、ライフサイエンスへ貢献するとともに、広く学生の実習や研究に公開されています。



GeneChip 遺伝子解析装置

GeneChipは、1/2インチ平方あたり数十万種類に及ぶ遺伝子プローブをアレイ上で合成した、ほかに類を見ない高密度マイクロアレイです。ヒト、マウス、ラットを中心に多くの生物種の遺伝子配列の変異や、遺伝子発現の変化を、一度の実験で確認できます。



Message 大学院の学びについて

歯科医師国家試験に合格し研修医として臨床に取り組む中で、専門性を身につけた歯科医師になることが大切であると考え、その中でも、診断を正確に行うのに大切な放射線学に興味を持ち大学院に進学することを決めました。現在は上顎洞炎と歯周病との関連について研究し、学会に参加し発表することで専門性のある知識をより高めています。また、臨床においても、最先端のCBCT、MDCT、MRI等の撮像や読影をすることで、日々、様々な疾患について学んでいます。

松戸歯学部には様々な分野で優秀な先生方が多く在籍しており、数多くのことを学ぶことができます。この、人と人との繋がりが松戸歯学部の素晴らしさだと思います。これから、進学を考えている方には、しっかりと自信が持てる専門性のある知識を大学で学んでいただきたいと思っています。

大学院松戸歯学研究科4年次(放射線学) 飯塚 紀仁さん



付属病院



Clinical Divisions

〈診療部門〉

歯科

- 総合診療科
- 放射線科
- 臨床検査科
- 病理診断科
- 保存科
- 補綴科
- 歯周科
- 小児歯科

矯正歯科

- 特殊歯科
- 口腔インプラント科
- 口腔外科
- 麻酔・全身管理科
- スポーツ健康歯科
- 顎顔面機能再建科
- 顎関節・咬合科
- 特別診療室

医科

- 内科
- 脳神経外科
- 頭頸部外科
- 耳鼻咽喉科

顎脳機能センター

- 口・顔・頭の痛み外来
- 摂食・嚥下リハビリテーション外来
- オール・リフレッシュ外来
- 脳ドック外来
- いびき外来
- 歯科人間ドック外来
- 神経歯科外来
- マイクロスコープ特診外来

〈医療情報部門〉

- 情報管理科
- 医療情報システム管理科
- 医療連携科



地域歯科医療の中核を担う付属病院

日本大学松戸歯学部付属病院は、臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、口腔の健康は全身の健康を支える「口腔科学 (Oral Science)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。そして複雑・多様化する医療ニーズに対応するために、最新の設備で大学付属病院として高度な医療に貢献する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

全国の歯学部付属病院の中でもトップクラスの来院患者数

付属病院の年間来院患者数は25万人以上、一日あたり約900人、年間入院患者数も約5,000人という、全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院数を有しています。5年次からの臨床実習では、この多くの患者さんの御協力により、豊富な臨床経験を積むことができます。また歯科医師臨床研修では、歯科医師免許取得後の1年間で大学付属病院などで研修歯科医として過ごしますが、当病院では約100人の研修歯科医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした医療環境

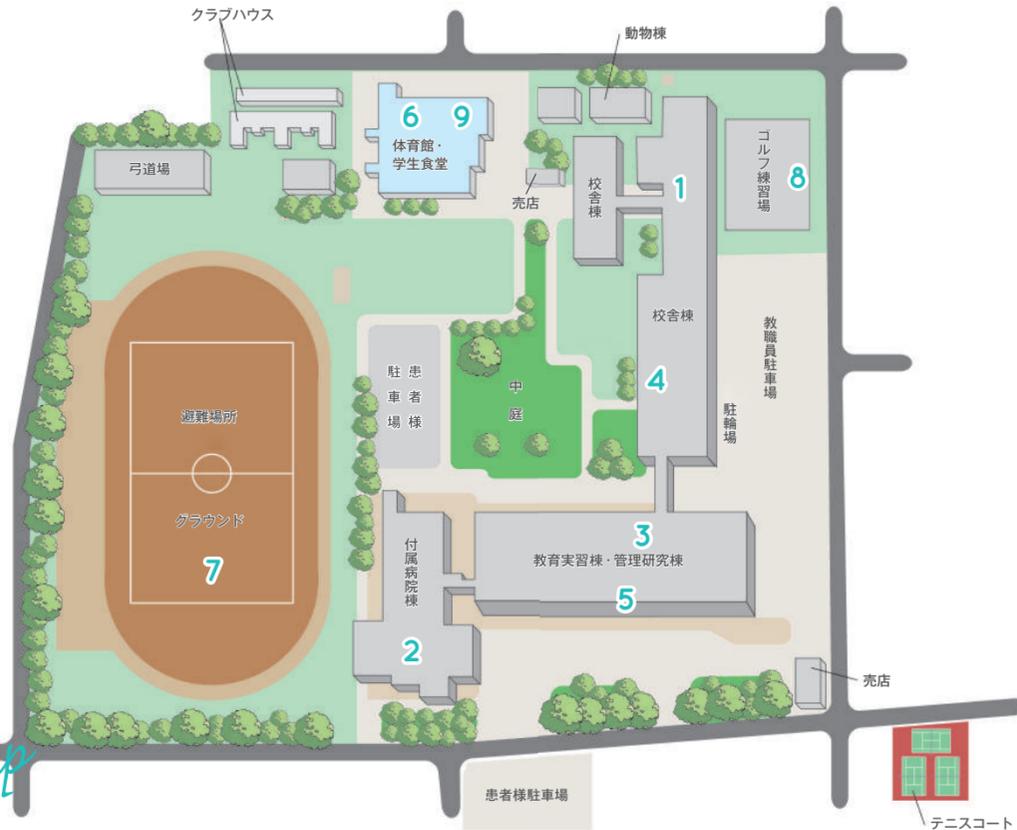
地上4階、地下1階の付属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。パティオ（吹き抜けの中庭）を中心に20診療科（歯科16科、医科4科）と8つの専門外来を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、最新のCT、MRI、血管造影装置など、あらゆる角度からの確な診断を可能とする設備を有し、歯学部付属病院として国内初の電子カルテシステムを導入するなど、充実した医療環境を整えています。

脳と口腔の機能に着目した医療の実践

「顎脳機能センター」は脳血管疾患などによる要介護状態の患者さんなどに対して、口腔と脳の2つの領域からのアプローチを可能にすることを目的に開設しました。ことに、「口・顔・頭の痛み外来」は首から上の全ての痛みに対応しており、同一の施設内で医師と歯科医師による協働した診療が可能としています。5年次からは医師や歯科医師、患者さんから数多くのことを学ぶとともに、常に新しい医療技術を学ぶ貴重な環境を整備しています。

キャンパスマップ

Campus map



4つの階段教室に加え実習室があり、教育活動の主な施設を収容する施設となっています。



歯科以外にも内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科もあります。5年次からの臨床実習は、この病院において実施します。



歯学・医学の専門書等約13万4千冊の資料を所蔵。その他契約中の電子ジャーナルも閲覧できます。



保健室には看護師が常駐し、学生の病気やけがなどの応急処置をしています。また学生相談室ではあらゆる相談事に応じます。



歯学史関係資料を中心に、古文書、古医書など、歯学の歴史を語る上で重要な資料が展示されています。



バスケットボールコート2面を確保でき、冷暖房設備があります。その他に各種道場、トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。



26,000m²の広さを持ち、夜間照明を完備しています。クラブ活動及び体育実技など幅広く利用され、また、松戸市の遊離場所兼収容遊離場所として指定されています。



クラブ活動だけでなく、学校関係者であれば利用できるゴルフ練習場です。一度に8人まで利用可能です。



学生や教職員、研修医など学内関係者が自由に利用でき、クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。



年間スケジュール

Event Schedule

4 April	日本大学入学式/学部開講式 登院式・戴衣式(5年次) ガイダンス/新入生オリエンテーション 附属歯科衛生専門学校入学式 大学院開講式 実験動物慰霊祭 学外研修(5年次)
5 May	定期健康診断/後援会総会 松戸歯学部創設記念日(5/20) 消防・防災訓練
6 June	リーダースキャンプ オープンキャンパス(学部) 体験入学(附属歯科衛生専門学校)
7 July	夏季休業 特待生・各種奨学生証書等授与式 オープンキャンパス(学部) 体験入学(附属歯科衛生専門学校)
8 August	全日本歯科学生総合体育大会(歯学部)(夏期部門) 夏季休業 オープンキャンパス(学部) 進学説明会・体験入学(附属歯科衛生専門学校)
9 September	口腔科学会学術大会・総会 後学期授業開始 AO入学試験(第1期) 校友子女入学試験(第1期) 大学院入学試験(第1期)
10 October	日本大学創立記念日(10/4) 解剖体追悼法要 松戸祭 市民大学講座 オープンキャンパス(学部) 進学説明会・体験入学(附属歯科衛生専門学校)
11 November	消防・防災訓練 一般高等学校指定校推薦入学試験 一般高等学校公募制推薦入学試験/編入学試験 附属高等学校推薦入学試験 大学院入学試験(外国人留学生)
12 December	全日本歯科学生総合体育大会(歯学部)(冬期部門) 冬季休業
1 January	一般入学試験C方式(第1期) AO入学試験(第2期) 校友子女入学試験(第2期)
2 February	歯科医師国家試験 共用試験CBT、OSCE(4年次) 一般入学試験N方式(第1期) 一般入学試験A方式(第1期) 大学院入学試験(第2期)
3 March	一般入学試験A方式(第2期) 一般入学試験C方式(第2期) 日本大学卒業式/学位記伝達式 附属歯科衛生専門学校卒業式 進級発表 歯科医師国家試験合格発表 歯科衛生士国家試験合格発表

松戸の街紹介

恵まれた住環境と活気ある駅前が魅力的な「松戸」

松戸は、自然に恵まれた住環境であり、都心へのアクセスが良いことが特徴。江戸川河川敷では毎年「松戸花火大会」が開催されたりと、人気スポットとなっています。花火大会打上げ会場のすぐ目の前に、人気の日本大学男子学生寮「バンテリアン松戸」があります。



Introduction to Matsudo

20分以内に通学できる男子学生寮「バンテリアン松戸」が設置されています。詳細はP.37をご覧ください。また、日本大学は指定業者としてレオパレス21と提携しており、大学周辺でアパート等への入居を希望する学生に、物件を紹介しています。詳しくは下記までお問い合わせください。
レオパレス21: <http://www.leopalace21.com/roomsearch/nihondaigaku.html> 問い合わせ先: 0120-977-721 (10:00~19:00)
その他学生課でも敷金礼金0円物件等を紹介しています。詳しくは学生課窓口までお越しください。

海外留学制度

About overseas study system



ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ (サマースクール)

日本大学はケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジで25年以上の長期にわたりサマースクールを実施しています。日本大学と共同出資で建設した学寮があり、研修期間中は、寮に滞在しながら、カレッジ生活を体験します。夏季休業期間を利用した3週間(1日約5時間の授業)の集中プログラムです。また、ケンブリッジ大学の学生が専属プログラムアシスタントとしてサポートします。

エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目指す授業が展開され、期間中はエリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在します。米国の生活・文化を体験するため、ニューヨーク、ワシントンD.C.といった大都市へのフィールドトリップも企画される予定です。

日本大学大学院海外派遣奨学生

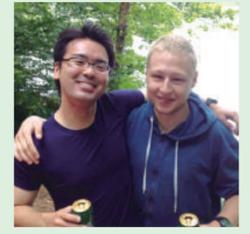
大学院学生を海外に派遣することにより、研究者の育成及び国際交流の進展を図り、もって本学の発展に資することを目的としています。

Voice

留学経験者の声

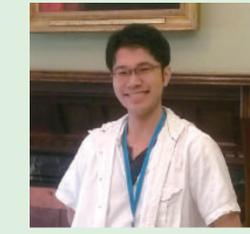
日本大学大学院海外派遣奨学生になって

私は、2015年から2016年までデンマークへ一年間留学をしました。デンマークは自分の携わっていた研究分野の治療と研究が盛んな国であり、また大学院生の4年間という期間の中で、1年の留学を通して海外での見聞を広げるのはとてもいい機会だと思い留学を決めました。留学先では歯科医師以外の職種の人々も所属しており、私と同じように様々な国からの留学生がいて、同じテーマの研究を行う上で非常に刺激を受けました。また研究にだけとはならず、日本とは大きく違う文化や考え方を体験し、自分の中で大きく考え方も変わりました。これは実際に留学してみないと分からないものであり、留学をして非常に良かったと感じました。



増田 学 さん

大学院松戸歯学研究科4年次(顎口腔機能治療学)(当時)



櫻井 斉 さん

松戸歯学部歯学科5年次(当時)

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ (サマースクール) に参加して

銀行員の叔父はアメリカの大学を卒業しており、その叔父に憧れて、自分もいつかは海外で学びたいと考えていました。日本大学へ進学した時から留学の可能性を探り、短期留学をすることにしました。2014年に参加した「ケンブリッジ大学・SLコース」では、世界中の優秀な学生が集まる学府であるケンブリッジの学生との交流は大変刺激的でした。彼らとの交流からより実践的なスキルを身につけたいと考えた私は、翌年同カレッジの「PGコース」へ参加しました。PGコースでは大学院生が主で、英語で論文を書きプレゼンを行いました。1ヶ月間の短期間で行う授業はハイレベルで、学生ボランティアやケンブリッジ大学の先生と共に論文の作成やプレゼンの練習に励みました。2回の海外研修を契機に、グローバルな視点を持った歯科医師になりたいという思いを一層強めました。



クラブ活動

club activity

本学部のモットーは文武両道。
 国家試験合格を目指すかわら、
 多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と、
 クラブ活動にも精力的に汗を流しています。
 本学部には夜間照明付きグラウンド、
 体育館、テニスコートやゴルフ練習場等が
 完備されており、サポート体制は万全です。
 このクラブ活動で得た学年を超えた
 「仲間」との絆は、
 在学中はもちろんのこと、
 卒業してからも生涯の友として
 貴重な財産となります。



体育クラブ

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サーフィン部
- サッカー部
- 山岳部
- 少林寺拳法部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- スキー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 軟式野球部
- 日本拳法部
- バドミントン部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビーフットボール部
- 陸上競技部

文化クラブ

- 英会話研究会 (ESS)
- 国際保健部
- 軽音楽部
- コーラス部
- 写真部
- ユースホステルクラブ
- アナログレコード研究部
- ダンス部
- アニマル・サイエンス部
- 自動車部
- モーターサイクル部
- 天文部

同好会

- MDEC 同好会
- 社会交流同好会
- 釣り同好会
- 戦史研究会
- フットサル同好会
- 低音楽同好会



入学試験情報

Admissions Information

入試までのスケジュール

入学試験日等	入学試験	備考	行事
平成30年 6月10日(日)		事前予約不要	オープンキャンパス
平成30年 7月8日(日)		事前予約不要	オープンキャンパス
平成30年 8月19日(日)		事前予約不要	オープンキャンパス
平成30年 9月1日(土)	AO入学試験(第1期)	エントリー期間 8/1~8/8 出願 8/21~8/27 発表 9/5	
	校友子女入学試験(第1期)	出願 8/21~8/27 発表 9/5	
平成30年 10月20日(土)		事前予約不要	オープンキャンパス
平成30年 11月10日(土)	一般高等学校指定校制推薦入学試験	出願 11/1~11/6 発表 11/14	
	一般高等学校公募制推薦入学試験	出願 11/1~11/6 発表 11/14	
	編入学試験	出願 11/1~11/6 発表 11/14	
	日本大学推薦入試(付属高等学校等)基礎学力選抜	出願 11/1(高校→本部) 発表 11/14(学校長へ通知)	
	日本大学推薦入試(付属高等学校等)付属特別選抜	出願 11/1(高校→本部) 発表 11/14(学校長へ通知)	
【大学入試センター試験】平成31年 1月19日(土)・20日(日)	一般入学試験C方式(第1期)	出願 1/5~1/19 発表 2/7	
平成31年 1月12日(土)	AO入学試験(第2期)	エントリー期間 12/3~12/14 出願 12/20~12/27 発表 1/17	
	校友子女入学試験(第2期)	出願 12/20~12/27 発表 1/17	
平成31年 2月1日(金)	一般入学試験N方式(第1期)	出願 1/5~1/24 発表 2/7	
平成31年 2月4日(月)	一般入学試験A方式(第1期)	出願 1/5~1/25 発表 2/7	
平成31年 3月4日(月)	一般入学試験A方式(第2期)	出願 1/5~2/22 発表 3/7	
【大学入試センター試験】平成31年 1月19日(土)・20日(日)	一般入学試験C方式(第2期)	出願 1/5~2/22 発表 3/7	

※内容は変更となる場合があります。最新情報は、ホームページに掲載いたします。
※大学院入試については、ホームページを参照してください。

平成31年度 日本大学松戸歯学部 入学試験情報

■ 一般入学試験

	一般入学試験N方式(第1期)	一般入学試験A方式(第1期)	一般入学試験A方式(第2期)	
募集人員	5名	45名	10名	
願書受付方法	郵送又は窓口(窓口受付は、出願締切日の前日と当日の2日間)			
願書受付開始日	平成31年1月5日(土)			
願書受付締切日	平成31年1月24日(木)	平成31年1月25日(金)	平成31年2月22日(金)	
入学試験日	平成31年2月1日(金)	平成31年2月4日(月)	平成31年3月4日(月)	
合格発表日	平成31年2月7日(木) インターネットによる合否案内	平成31年2月7日(木) インターネットによる合否案内	平成31年3月7日(木) インターネットによる合否案内	
入学手続締切日	平成31年2月14日(木)		平成31年3月18日(月)	
出願資格・出願書類	「一般入学試験要項」に記載のとおり。 【備考】N方式の試験会場は、日本大学統一入試N方式第1期の試験会場(札幌・仙台・郡山・つくば・佐野・千葉・東京・横浜・湘南・高崎・新潟・長野・三島・名古屋・大阪・広島・福岡・長崎・宮崎の予定)。 N方式、A方式第1期及び第2期、C方式第1期及び第2期それぞれ併願可。			
入学検定料	24,000円	50,000円	50,000円	
選考方法	1 学科試験 外国語/「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」(60分、100点満点) 数学・理科/「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」のうちから1科目選択(60分、100点満点) 上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。(60分、100点満点) 2 書類審査 上記の結果を基に、総合的に選考する。			
小論文 テーマ	28年度	A第1期:あなたの科学への思いについて述べなさい。 A第2期:あなたの学問への思いについて述べなさい。	300字以上 400字以内	50分
	29年度	A第1期:チームワークとはどのようなことか、あなたの体験も交えて述べなさい。 A第2期:医療・介護の現場における多職種連携について思うところを述べなさい。	300字以上 400字以内	50分
	30年度	A第1期:人生100年時代の社会における歯科医療の役割について論じなさい。 A第2期:食の安全性と企業の責任について、あなたの考えを述べなさい。	300字以上 400字以内	50分

■ 一般入学試験C方式[大学入試センター試験を利用した試験]

	第1期	第2期
募集人員	3名	2名
願書受付方法	郵送又は窓口(窓口受付は、出願締切当日の1日のみ)	
願書受付開始日	平成31年1月5日(土)	
願書受付締切日	平成31年1月19日(土)	平成31年2月22日(金)
出願資格・出願書類	「一般入学試験要項」に記載のとおり。	個別学力検査等 実施しない
入試試験日	大学入試センター試験(平成31年1月19日(土)・20日(日))	
試験科目・配点	国語 「国語(近代以降の文章)」(100点満点) 理科 「物理」、「化学」、「生物」のうちから1科目選択(100点満点) 外国語 「英語」(100点満点)	数学 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」のうちから1科目 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」のうちから1科目(各50点、100点満点) 理科 「物理」、「化学」、「生物」のうちから1科目選択(100点満点) 外国語 「英語」(100点満点)
入学検定料	24,000円	24,000円
合格発表日	平成31年2月7日(木) インターネットによる合否案内	平成31年3月7日(木) インターネットによる合否案内
入学手続締切日	平成31年2月14日(木)	平成31年3月18日(月)

平成31年度 日本大学松戸歯学部 入学試験情報

■ 一般高等学校指定校制推薦入学試験

募集人員	3名	願書受付方法	郵送又は窓口 ※ただし休日は郵送のみ
願書受付期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月6日(火)	入学試験日	平成30年11月10日(土)
合格発表日	平成30年11月14日(水) 学校長と本人へ通知	入学手続締切日	平成30年11月21日(水)
推薦基準及び出願資格	1 本学部指定の高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者。 2 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 3 調査書の全体の評定平均値が指定校別に定めた値以上の者。 4 上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。		
入学検定料	50,000円	出願書類	1 入学志願票 2 出身学校の調査書 3 出身学校長の推薦書
選考方法	1 書類審査 2 小論文 3 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		

■ 一般高等学校公募制推薦入学試験

募集人員	3名	願書受付方法	郵送又は窓口 ※ただし休日は郵送のみ
願書受付期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月6日(火)	入学試験日	平成30年11月10日(土)
合格発表日	平成30年11月14日(水) 学校長と本人へ通知	入学手続締切日	平成30年11月21日(水)
推薦基準及び出願資格	1 全日制高等学校又は中等教育学校(ともに普通科・理数科、又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を平成30年3月に卒業した者又は平成31年3月卒業見込みの者。(ただし、日本大学付属高等学校等については、平成30年3月に卒業した者のみとする) 2 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 3 上記の基準を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。		
入学検定料	50,000円	出願書類	1 入学志願票 2 出身学校の調査書 3 出身学校長の推薦書
選考方法	1 書類審査 2 適性試験 3 小論文 4 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		

■ AO入学試験

	第1期	第2期
募集人員	15名	5名
アドミッションポリシー	歯科医療、福祉等に強い関心を持ち、将来、歯科医療の分野で社会に貢献することを希望し、本学部での学習に真剣に取り組む姿勢が明確な学生を求める。記述力、洞察力、表現力等の基礎能力を評価するために大学独自の適性検査(筆記・小論文及び実技試験)を課し、また、面接による歯科医師としての適性の評価と将来的な期待度の評価も重視する。	
出願資格	次の一に該当し、合格した場合本学部に入学することを確約できる者。 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者。 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び平成31年3月修了見込みの者。 3 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 外国の学校、在外教育施設、専修学校の高等課程、高等学校卒業程度認定試験 等	
エントリー期間	平成30年8月1日(水)～平成30年8月8日(水) 郵送のみ	平成30年12月3日(月)～平成30年12月14日(金) 郵送のみ
エントリー出願書類	1 エントリーシート(志望理由書・自己推薦書) 2 出願資格を証明する書類(高等学校、中等教育学校の卒業(見込)者、高等専門学校第3年次、在外教育施設の当該課程の修了(見込)者は出身学校の調査書)	
エントリー審査	書類審査のみ	
エントリー審査結果通知	平成30年8月20日(月) 本人へ通知	平成30年12月19日(水) 本人へ通知
願書受付期間	平成30年8月21日(火)～平成30年8月27日(月) 郵送・窓口 ※ただし休日は郵送のみ	平成30年12月20日(木)～平成30年12月27日(木) 郵送・窓口 ※ただし休日は郵送のみ
出願書類	入学志願票	選考方法 適性検査 ①筆記 ②小論文 ③実技(当日指定) ④面接 ※上記の結果を基に総合的に選考する。
入学試験日	平成30年9月1日(土)	平成31年1月12日(土)
合格発表日	平成30年9月5日(水) 本人へ通知	平成31年1月17日(木) 本人へ通知
入学手続締切日	平成30年9月12日(水)	平成31年1月24日(木)
入学検定料	50,000円	50,000円

■ 編入学試験

募集人員	若干名	願書受付方法	郵送又は窓口 ※ただし休日は郵送のみ
願書受付期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月6日(火)	入学試験日	平成30年11月10日(土)
合格発表日	平成30年11月14日(水) 本人へ通知	入学手続締切日	平成30年11月21日(水)
推薦基準及び出願資格	1 大学に原則として1年以上在学し、35単位以上を修得した者。 2 大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者。 3 短期大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者。 4 高等専門学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者。 5 専修学校の専門課程を修了した者及び平成31年3月卒業見込みの者。		
入学検定料	50,000円	出願書類	1 入学志願票 2 編入学試験出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) 3 大学等の成績証明書(単位数記載のもの) 4 大学等の在学期間を証明する書類(在学証明書・卒業証明書・退学証明書等) 5 出身高等学校等の調査書又は成績証明書
選考方法	1 書類審査 2 適性試験 3 小論文 4 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		

■ 校友子女入学試験

	第1期	第2期
募集人員	6名	4名
願書受付方法	郵送又は窓口 ※ただし休日は郵送のみ	
願書受付期間	平成30年8月21日(火)～平成30年8月27日(月)	平成30年12月20日(木)～平成30年12月27日(木)
入学試験日	平成30年9月1日(土)	平成31年1月12日(土)
合格発表日	平成30年9月5日(水) 本人へ通知	平成31年1月17日(木) 本人へ通知
入学手続締切日	平成30年9月12日(水)	平成31年1月24日(木)
推薦基準及び出願資格	1 日本大学校友会が発行した「校友子女確認書」を有し、次のいずれかに該当し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者。 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者。 ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
入学検定料	50,000円	出願書類 1 日本大学校友会発行の「校友子女確認書」 2 入学志願票 3 校友子女入学試験 出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) 4 出身学校の調査書等
選考方法	1 書類審査 2 適性試験 3 小論文 4 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。	

■ 日本大学推薦入試(付属高等学校等)基礎学力選抜

募集人員	12名	願書受付方法	本部より
願書受付日	平成30年11月1日(木) (高校→本部)	入学試験日	平成30年11月10日(土)
合格発表日	平成30年11月14日(水) 学校長へ通知	入学手続締切日	平成30年11月21日(水)
推薦基準及び出願資格	1 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の8割以上である者。		
入学検定料	50,000円	出願書類	1 入学志願票 2 出身学校の調査書
選考方法	1 書類審査 2 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		

■ 日本大学推薦入試(付属高等学校等)付属特別選抜

募集人員	2名	願書受付方法	本部より
願書受付日	平成30年11月1日(木) (高校→本部)	入学試験日	平成30年11月10日(土)
合格発表日	平成30年11月14日(水) 学校長へ通知	入学手続締切日	平成30年11月21日(水)
推薦基準及び出願資格	1 日本大学付属高等学校等(文系・理系)を平成31年3月卒業見込みの者。 2 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。 3 上記1,2の条件を満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。		
入学検定料	50,000円	出願書類	1 入学志願票 2 出身学校の調査書 3 出身学校長の推薦書 4 志願理由書
選考方法	1 書類審査 2 適性試験 3 小論文 4 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。		

平成31年度 日本大学松戸歯学部 入学試験情報

■ 学費 (平成30年度参考)

	1年次		2年次		3～6年次	
	前学期 (入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料 (毎年)	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金 (6年間)	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料 (2年間)	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
小計	3,750,000円	3,150,000円	2,650,000円	2,650,000円	2,150,000円	2,150,000円
学年合計	6,900,000円		5,300,000円		4,300,000円	
	6年間合計 29,400,000円					

▶ 一般入学試験時の成績優秀者は教育充実料200万円(初年度)を減免します。

■ 奨学金 (平成30年度参考)

本学部には充実した奨学金制度があります。

学業成績・人物が優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、さまざまな奨学金を給付・貸与しています。

【日本大学及び日本大学松戸歯学部の奨学金制度】

奨学金名	対象	条件	金額	種別	募集時期 ^{※1}
日本大学特待生	学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者 (公募ではありません)	甲種:授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種:授業料1年分相当額の半額	給付	—
日本大学事業部奨学金	学部生	経済的理由により学費等の支弁が困難である 学業成績・人物共に優秀な者	年額24万円	給付	5月
松戸歯学部鈴木奨学金(第1種)	学部2～6年次生 大学院生	学業成績・人物ともに優れている者	年額10万円	給付	4～5月
松戸歯学部鈴木奨学金(第2種)	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である 学業成績・人物共に優秀な者	年額24万円	給付	5月
松戸歯学部大竹奨学金	学部・大学院生	学業・人物ともに優れた者、もしくは、課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者	年額10万円	給付	5月
日本大学古田奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者	年額20万円	給付	5月
ロバート・F・ケネディ奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者	年額20万円	給付	5月
日本大学創立130周年記念奨学金(第1種)	学部(一般入試出願前予約採用者)	経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者で、事前審査により予約採用候補者として決定し、一般入学試験により本学1年次に入学を許可された者(外国人留学生を除く)	年額30万円	給付	6月
日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)	学部生	経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者(外国人留学生を除く)	年額30万円	給付	6月

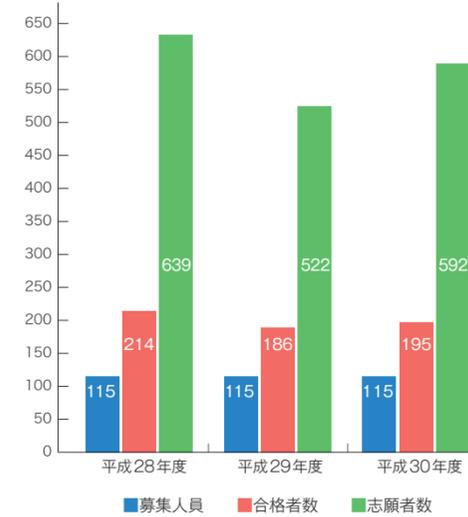
【学外の奨学金制度】

奨学金名	対象	条件	金額	種別	募集時期 ^{※1}
日本学生支援機構奨学金(第一種) ^{※2} [無利子]	学部・大学院生	特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学困難な者	学部生:2万円,3万円,4万円,5万4千円(自宅通学)2万円,3万円,4万円,5万円,6万4千円(自宅外通学) 大学院生:8万円もしくは12万2千円	貸与	4月
日本学生支援機構奨学金(第二種) ^{※2} [有利子]	学部・大学院生	第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者	学部生:2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・16万円から選択/大学院生:5・8・10・13・15万円から選択	貸与	4月
民間企業提携教育ローン	学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください		貸与	随時
地方公共団体・各奨学財団奨学金	学部・大学院生	募集期間や内容はさまざまです。詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします		給付・貸与	随時

※1 募集時期は目安です。正式な期限等については、学生課掲示板にてお知らせいたします。

※2 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <http://www.jasso.go.jp>

■ 募集人員, 合格者数, 志願者数の推移

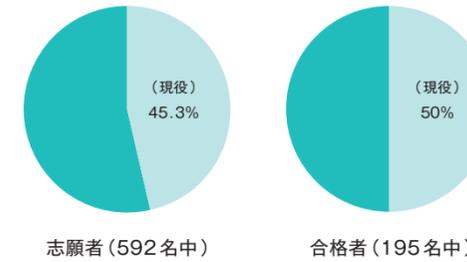


■ 学年別男女人数(人)

(平成30年4月1日現在)

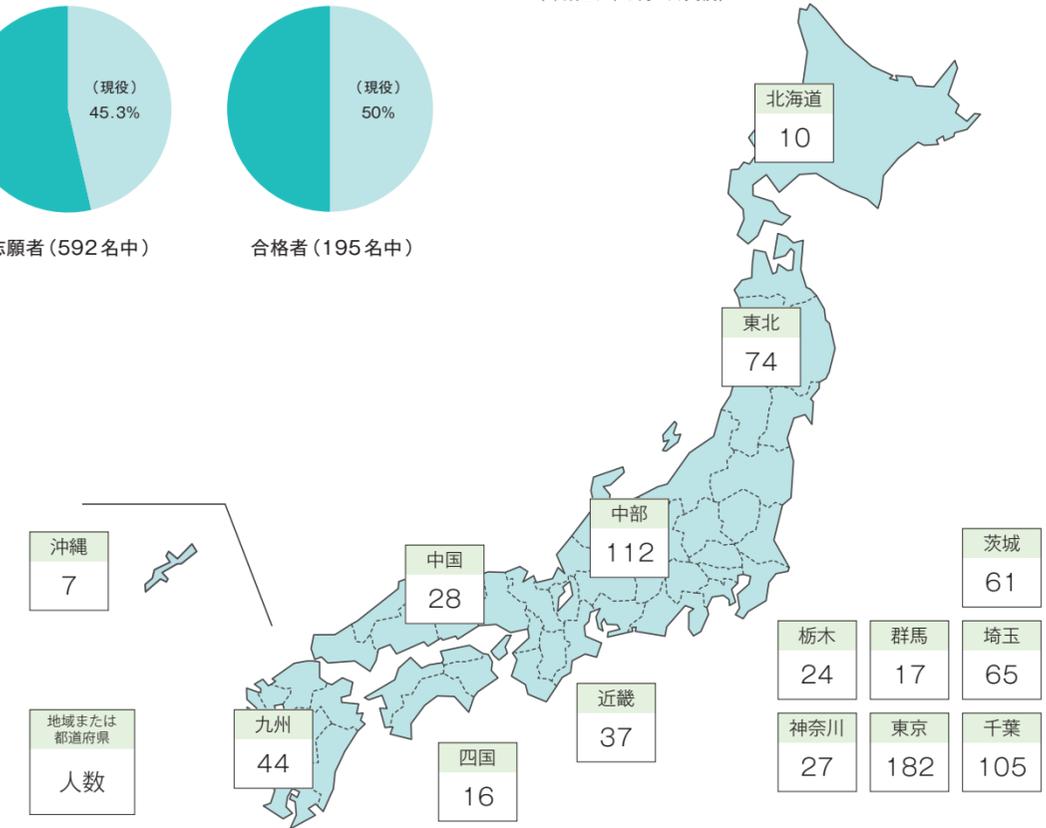
	男	女	合計
1年次	78	49	127
2年次	88	52	140
3年次	70	55	125
4年次	93	51	144
5年次	89	43	132
6年次	98	63	161
合計	516	313	829

■ 平成30年度志願者・合格者に占める現役生の割合(%)



■ 在校生の出身都道府県別人数内訳(参考)

(平成29年5月1日実績)



附属歯科衛生士専門学校



1 教育理念

社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自立する自主創造型歯科衛生士を養成しようとする精神

3 三つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)

本校の教育方針に基づき各分野の授業科目を全て履修し、所定の単位を修得するとともに、「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけた自主創造型歯科衛生士としての以下の能力・感性を兼ね備えた者に専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

- 1 医療従事者として高い使命感と倫理観を持ち、人間性豊かな感性
- 2 先端歯科医療の知識と技術を修得し、医療の場で提供できる能力
- 3 患者の様々なライフステージを理解した上で、最適な口腔健康管理を主体的に考え、行動することができる能力
- 4 保健・医療・福祉等の医療チームの一員として果たすべき役割を正しく理解し、連携して歯科保健医療と福祉の向上に貢献できる能力
- 5 生涯にわたり己を振り返り医療人としての資質を高めることができる能力

②カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)

教育の理念に基づいて、口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、医療人となるための専門的知識・基礎的技術を修得し、社会貢献のできる豊かな感性を身につけた全人的な歯科衛生士を育成するための教育課程を編成している。また、各授業科目の学修方法、学修過程、学修成果の評価の方法、評価基準をシラバスに明示し、学生に周知する。学修成果の評価に関しては、実施する授業形態に即し、適正かつ厳格な方法で実施する。

具体的な教育課程の編成は、1年生前期から2年生前期では一般教養、基礎歯科医学、臨床歯科医学、および歯科衛生士の業務の基礎となる「歯科診療補助論」、「歯科予防処置論」、「歯科保健指導論」を配置する。2年生後期から3年生前期では、松戸歯学部附属病院での歯科臨床実習を主とし、加えて幼稚園・小学校・障害者支援施設・老人保健施設・保健センター等で臨床実習を実施する。3年生後期は、統合演習等で、3年

2 教育目的

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とした専門的知識や技術を修得し、自ら考え、自ら学び、自ら道を開拓し、社会貢献できる全人的な歯科衛生士を育成することを教育目的とする。

間で学んだ知識・技術および体験学習等で学んだ経験値の融合を行う。

- 1 一般教養(選択科目を含む)や歯科衛生士業務の主要三科を通じて知識や教養を養い、附属病院臨床実習に加え、幼稚園、小学校、障害者支援施設、老人保健施設、保健センター等での臨床実習を通じて、医療人としての基礎となるプロフェッショナリズムを育成する。
- 2 全学年で毎年開催される「研究発表会」において、グループごとに課題を見つけ、話し合い、調査をして発表を行う。また発表会での討論を通じて、論理的・批判的思考を養う。
- 3 附属病院臨床実習に加え、様々な臨床実習を通じて、修得した知識を医療現場や幼稚園・小学校現場で実践することで「自主創造」の姿勢を実践する能力を養う。
- 4 附属病院臨床実習に加え、様々な臨床実習を通じて、対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科衛生士を育成する。
- 5 附属病院臨床実習や臨床実習後に提出するレポートを通じて、常に振り返りを行いながら自己の向上を図る必要性を理解し、医療人として生涯にわたって学ぶ姿勢を育成する。

③アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

松戸歯学部附属歯科衛生士専門学校の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、以下の資質を持つ人を受け入れる。

- 1 口腔保健活動を通じて人々の健康増進に貢献したいという目的意識を持つ人
- 2 口腔保健衛生を修得するための十分な学力と実践するためのコミュニケーション能力を兼ね備えている人
- 3 知的好奇心をもって自ら課題に取り組み、新しい道を切り開いていく「自主創造」の姿勢を実践できる人
- 4 協調性と他人に対する思いやりを持ち、人としての成長を目指す人

Education

歯科衛生士になるための3年間の学び

歯学部の学生や教職員、多くの患者さんが行きかう附属病院に隣接した恵まれた環境の中で充実した教育を受けることができます。講義は松戸歯学部の教授をはじめ、それぞれの専門分野のエキスパートが担当し、最新の知識を学ぶことができます。附属病院での臨床実習では、講義を受けた先生の治療も実際に見学でき、講義と実習とがうまく補完しあえるようになっており、歯科衛生士という専門職に必要な知識と技術を学びながら、医療従事者としての自覚と感性を磨きます。また、講義や実習のほかに、学部学生と共に行うクラブ活動や学校行事などを通して、コミュニケーション能力を身に付けることもできます。



基礎科目と専門科目を履修し、歯科衛生士の幅広い知識と技術を身に付けていきます。スケーラーという器具を用いた歯石の除去及びう蝕予防処置を学ぶ科目では、器具の持ち方に始まり、マネキンを使った実習を経て、学生同士でお互いに歯石を取り合う相互実習を行います。また、患者さんの年代や身体の状態に合わせた指導方法を身に付け、臨床実習への基礎を固めます。



2学年前学期には、実際の治療現場である附属病院での臨床実習準備教育を行います。2学年後学期から臨床実習が本格的に開始され、患者さんと対話し歯石の除去やブラッシング指導などの訓練を積み、病院内のさまざまな診療科で診療補助を学んでいきます。さらに、近隣の幼稚園や小・中学校での校外実習も取り入れ、実際の保健指導を幅広く経験します。臨床実習を終え3学年後学期からは、国家試験対策の授業を行っていきます。

Topics

豊富な実習で優れた歯科衛生士をめざす 本学独自の「歯科衛生士育成プログラム」

豊富な実習を通して、優れた歯科衛生士を育成するプログラムを用意しています。歯科分野の実習だけでなく、色彩学や情報科学、手話、スポーツ健康管理学、マナー学、食育、ペン習字といった選択科目もあり、コミュニケーション能力を併せもった歯科衛生士を目指します。

4月中旬に実施される新入生オリエンテーションでは、クラスメートとの意見交換や特別養護老人ホームへ施設訪問し、交流体験をします。また、入学数か月後に行う早期臨床体験実習では、歯科衛生士の役割を学び、患者さんの気持ちを理解できるようになる良い機会を得ることができます。



Message 卒業生メッセージ

通っていた歯科医院の歯科衛生士さんから実習の環境や内容、国家試験対策が充実しているという話を聞いてこの学校を選びました。臨床実習では講義をしてくださった先生方の診療を実際に見ることができたり、附属病院ならではの経験を積むことができ、広い分野からたくさんの事を吸収できるのがこの学校の魅力の一つだと思います。

学校行事も盛んなので同じ職業を目指す仲間と過ごす学校生活はとても充実しています。高い意識を持ち、卒業後もリーダーシップをとれるような歯科衛生士を目指すことができるので、この学校を選んで良かったと思います。



坂下 桃子 さん
40期卒業
丸の内帝劇
デンタルクリニック勤務

私は、高校を卒業し、音楽大学へと進学しクラリネットを専攻していました。大学在学中に、管楽器と口腔は口腔周囲の筋肉や舌など共通点があるのではないかと考え、歯科衛生士を目指すようになりました。音楽を通じて口腔の大切さを伝えていきたいです。学校は、講義や実習がとても充実しています。分からないことを質問すれば、理解できるまで教えてください。また、附属病院での実習では多くの症例に触れることができ、貴重な経験となります。行事もたくさんあるので、友人との繋がりが強くなることも魅力です。



寺村 早希 さん
39期卒業
東海大学医学部附属
八王子病院勤務

障害のある方の歯科治療のアシスタントや口腔疾患の予防を担当しています。患者さんの障がいに応じて治療や対応に配慮が必要な仕事です。また、摂食嚥下リハビリテーション外来にも歯科衛生士が診療チームの一員として参加しており、発達障害児や要介護高齢者など、摂食嚥下機能に障害がある方がお口から食事ができるように支援しています。様々な知識が必要な業務ですが、最先端の歯科医療・専門の診療科があるこの学校で幅広く学び、経験できたことが今に生きています。

また、一般常識や身だしなみなど細かいところまで先生方が学生一人ひとりに優しく指導してくださる“先生との距離が近い”学校です。



宮内 知美 さん
32期卒業
日本大学松戸歯学部
附属病院勤務

企業の社員・団体の職員などの方々を対象に、職場において歯科医師・歯科衛生士による歯科健診と保健指導により、歯科疾患の早期発見から健康増進まで支援を行っております。全国規模で実施しているため地方へ出張する事も多くあり、全国各地を回る事ができて楽しいです。私が在学中は2年制だったので、毎日が目まぐるしく過ぎて行った記憶があります。

また、いろいろな壁に直面しても、32期生の皆がいてくれたことで心の支えになり乗り越えられたことは今でも感謝しています。

受験生の皆さんも、自分がこうなりたいと思う目標をしっかりと掲げて日々取り組むことで、実りある充実した学生生活が送れると思います。



安田 桂保里 さん
32期卒業
一般財団法人
サンスター財団勤務

入学試験情報 2019

入試概要

■ 一般入学試験

	募集人数	出願期間	試験期日	合格発表
1期	5名(女子)	平成30年11月26日(月)～12月8日(土)	平成30年12月15日(土)	平成30年12月19日(水)午後1時掲示・HP (当日午後5時まで)発表 本人へ通知
2期	若干名(女子)	平成31年2月4日(月)～2月18日(月)	平成31年2月23日(土)(注)	平成31年2月27日(水) 本人へ通知
小論文テーマ	平成28年	東日本大震災から学んだことについて述べなさい。 (1期)「クオリティオブライフ(QOL)と食」について、あなたの考えを述べなさい。		
	平成29年	(2期) 病気の治療が中心のこれまでの医療から、病気の予防や健康づくりに今後、重点が置かれるようになってきました。その点から歯科衛生士はどのような役割や貢献をすべきかを述べなさい。		
	平成30年	(1期) 女性の社会進出を促進するために必要なことは何か。あなたの考えを述べなさい。 (2期) 超高齢社会の歯科衛生士の役割について述べよ。		

試験科目等：1 書類審査 2 適性審査 3 小論文 4 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する
注：ただし、平成30年12月26日(水)までに、総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない

■ AO入学試験

	募集人数	エントリーシート 配布	エントリー期間	エントリー審査	エントリー 審査結果通知	出願受付期間	合格発表
1期	20名(女子)	体験入学：平成30年 6月10日(日)、23日(土)、 7月8日(日)	平成30年6月11日(月) ～7月14日(土)	平成30年7月 21日(土)	平成30年7月 24日(火)	平成30年7月31日(火) ～8月2日(木)	平成30年8月 7日(火)
2期	5名(女子)	体験入学：8月19日(日)、 10月21日(日)	平成30年10月10日(水) ～11月9日(金)	平成30年11月 17日(土)	平成30年11月 21日(水)	平成30年11月28日(水) ～11月30日(金)	平成30年12月 5日(水)
小論文テーマ	平成29年	歯科衛生士の仕事について述べ、あなたの目指す歯科衛生士について書きなさい。					
	平成30年	歯科衛生士は、予防管理の専門家であると言われる理由を説明しなさい。					

エントリー審査：1 小論文 2 面接

■ 社会人入学試験

	募集人数	出願期間	試験期日	合格発表
1期	若干名(女子)	平成30年11月26日(月)～12月8日(土)	平成30年12月15日(土)	平成30年12月19日(水) 本人へ通知
2期	若干名(女子)	平成31年2月4日(月)～2月18日(月)	平成31年2月23日(土)(注)	平成31年2月27日(水) 本人へ通知

試験科目等：1 適性審査 2 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する
注：ただし、平成30年12月26日(水)までに、総募集人員(40名)を満たしている場合は、第2期試験は実施しない

■ 一般高等学校 公募制推薦入学試験

	募集人数	出願期間	試験期日	合格発表
1期	5名(女子)	平成30年9月3日(月)～9月28日(金)	平成30年10月6日(土)	平成30年10月10日(水) 学校長と本人へ通知
2期	若干名(女子)	平成30年11月26日(月)～12月8日(土)	平成30年12月15日(土)	平成30年12月19日(水) 学校長と本人へ通知
小論文テーマ	平成28年	(1期)「失敗から学ぶ」をテーマに、自分の経験を踏まえて何を学んだか述べなさい。 (2期) あなたの長所と短所の2点から、将来歯科衛生士になるにあたり、自分が衛生士に向いていると思える点と、入学後に直していかなければならない点を述べなさい。		
	平成29年	(1期)「女性の社会進出により少子化が進む」という意見があります。この意見に対するあなたの考えを述べなさい。 (2期) 病気の治療が中心のこれまでの医療から、病気の予防や健康づくりに今後、重点が置かれるようになってきました。その点から歯科衛生士はどのような役割や貢献をすべきかを述べなさい。		
	平成30年	「わたしの家族」が「高校生活で学んだこと」のどちらかのタイトルを選んで記載しなさい。		

試験科目等：1 書類審査 2 小論文 3 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する

■ 一般高等学校 指定校制推薦入学試験

募集人数	出願期間	試験期日	合格発表
5名(女子)	平成30年9月3日(月)～9月28日(金)	平成30年10月6日(土)	平成30年10月10日(水) 学校長と本へ通知

試験科目等：1 書類審査 2 面接

■ 付属高等学校等 推薦入学試験

募集人数	出願期間	試験期日	合格発表
若干名(女子)	平成30年9月3日(月)～9月28日(金)	平成30年10月6日(土)	平成30年10月10日(水) 学校長へ通知

試験科目等：1 書類審査 2 面接 左記の結果を基に、総合的に選考する。

※ 入学検定料20,000円(すべての入学試験(AO入試の場合は、エントリー審査料とする))

※ 出願資格等に関しては、募集要項にてご確認ください

学費

■ 学費(平成30年度)

学年	区分	学費等内訳		年額
		前学期	後学期	
1学年	入学金	250,000円	—	250,000円
	授業料	350,000円	350,000円	700,000円
	施設設備資金	50,000円	50,000円	100,000円
	小計	650,000円	400,000円	1,050,000円
2学年	授業料	350,000円	350,000円	700,000円
	施設設備資金	50,000円	50,000円	100,000円
	小計	400,000円	400,000円	800,000円
3学年	授業料	350,000円	350,000円	700,000円
	施設設備資金	50,000円	50,000円	100,000円
	小計	400,000円	400,000円	800,000円
3年間合計		1,450,000円	1,200,000円	2,650,000円

※ 前学期(4～9月)・後学期(10～3月)
入学金(入学時のみ)・授業料(毎年)・施設設備資金(3年間)

■ その他卒業時までの諸経費(平成30年度参考)

学年	教科書	実習器材	体育着	合計
1学年	75,567円	163,515円	18,800円	257,882円
2学年	51,695円	—	—	51,695円
3学年	19,104円	—	—	19,104円
合計	146,366円	163,515円	18,800円	328,681円

■ 平成30年 体験入学・進学説明会・学校見学

日時	行事	備考
6月10日(日) 9:40～12:40	体験入学 模擬実習・施設見学	事前予約 エントリーシート配布
6月23日(土) 9:40～12:40	体験入学 模擬実習・施設見学	事前予約 エントリーシート配布
7月8日(日) 9:40～12:40	体験入学 模擬実習・施設見学	事前予約 エントリーシート配布
8月19日(日) 受付時間：9:30～12:30	体験入学・ 進学説明会	事前予約 エントリーシート配布
10月21日(日) 受付時間：10:00～13:00	体験入学・ 進学説明会	事前予約 エントリーシート配布 松戸祭同時開催
随時(要予約)	上記以外でも学校見学等を受付します。 しかし、学校見学、学校行事等で希望に添えない場合がございますので、お電話かメールで事前にご予約ください。	

※ 進学説明会は事前予約不要

各種奨学金制度の紹介

■ 松戸歯学部鈴木奨学金

目的	種別・金額	募集時期・対象学年
故鈴木勝博士が寄付した基金を運用して、学業成績・人物が優秀な者に対して給付する。	給付・年額 100,000円	募集時期：4月～5月 対象学年：2・3学年

■ 松戸歯学部大竹奨学金

目的	種別・金額	募集時期・対象学年
大竹繁雄博士が寄付した基金を主に運用して、学業成績・人物が優秀な者、または課外活動において顕著な成果を収め、学部等の発展に貢献したと認められる者、または奨学生選考委員会が適当と認める事情がある者に対して給付する。	給付・年額 100,000円	募集時期：4月～5月 対象学年：全学年

■ 国の教育ローン

給貸期間	金額等
募集対象	
貸与・随時	
学費の支弁が困難な者 ※詳細は「国の教育ローン」でWeb検索してください。 学生課にリーフレットがあります。	3,500,000円以内

■ 日本学生支援機構

経済的理由により修学に困難がある優れた学生等に対し、学資として奨学金を貸与します。機構の奨学金は貸与ですから、返還の義務があり、必ず返還しなくてはなりません。

【貸与月額と貸与期間】

第一種奨学金(無利子の奨学金を貸与)

	自宅通学者	自宅外通学者	備考
月額	53,000円	50,000円・60,000円	募集は4月初旬です。 学生課掲示板でお知らせします。
貸与期間	20,000円・30,000円・40,000円 卒業までの最短修業年限		

第二種奨学金(有利子の奨学金を貸与)

	自宅・自宅外共通	備考
月額	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円の中から選択	募集は4月初旬です。 学生課掲示板でお知らせします。
貸与期間	卒業までの最短修業年限	

Q & A

Question 01 入学試験の選択科目によって有利不利はありますか？

Answer
問題作成の際に難易度などを調整し、不公平にならないよう配慮していますので、選択科目による有利不利はありません。自分の得意な科目でチャレンジすることが、より良い結果につながるでしょう。

Question 02 試験場の下見はできますか。

Answer
試験場へは入れませんが、事前に駅からの道順、所要時間をチェックし下見しておくことをお勧めします。なおオープンキャンパス、キャンパスツアーに参加していただければ、学内見学の際案内いたします。(日程：P38参照)

Question 03 入学手続きについて知りたいのですが。

Answer
合格後、入学手続き期間中に所定の納入金を納め、必要書類を提出いただくと入学が許可されます。なお、日本大学他学部または他大学を併願している場合は、一部の一般入学試験(正規合格者)は入学手続きの延期が可能です。延期を希望する場合は、入学手続き期間中に入学申込金を納入し、所定の手続きを行うことで、大学指定の期日まで延期することが可能です。この入学申込金は、本学部へ入学される際に入学金として充当いたします。

Question 04 国家試験について教えてください。

Answer
歯学部の学生にとっての最終目標ともいえるのが毎年実施される歯科医師国家試験の合格です。大学での講義、実習をマスターしていれば、十分に合格レベルに達することができます。

Question 05 卒業後の進路は？

Answer
松戸歯学部の卒業生は5,670人。日本だけでなく、海外でも歯科医療の最先端で活躍しています。卒業後は1年の臨床研修歯科医師期間を経て、歯科医師として病院に就職するほか個人開業医になるなど、さらには、より高いレベルの知識、技術を身につけるために大学院に進学、もしくは研究生への進路も用意されています。なお就職については、毎年就職希望者の約7倍近くの求人があります。

Question 06 日本大学男子学生寮(バンデリアン松戸)について教えてください。

Answer
平成26年3月に新設された男子学生寮です。松戸歯学部への通学にも便利な場所に位置しています。詳細につきましては、日本大学ホームページをご覧ください。また、下記にお問い合わせください。
◎お問い合わせ先：日本大学学生部
0120-130-515(月～金 10:00～16:00)



Question 07 奨学金のことで教えてください。

Answer
日本学生支援機構の奨学金をはじめ、本学部独自の奨学金や提携教育ローンなど、様々な制度を利用することができます。各制度の概要はP31に掲載していますので、御参照ください。

Question 08 クラブと勉強の両立は可能ですか？

Answer
本学部では、多くの学生がクラブに所属しています。練習の頻度等はクラブによって異なりますが、どのクラブも学業優先を念頭に活動しています。クラブ活動を通じて、学年を越えた繋がりを持つことができ、勉強面においても協力し合うことのできる貴重な仲間となるでしょう。

Question 09 松戸歯学部付属病院を学生は利用できますか？

Answer
はい、できます。校友会に入会し、校友会準会員診療費助成申請書を学生課に提出すれば、支払った診療費が後日返金されますので、学生は実質無料で受診することができます。歯科関係の診療科はもちろんのこと、内科・耳鼻咽喉科などの医科の診療科もあります。

Open Campus

※附属歯科衛生専門学校はP36参照

開催日時

オープンキャンパス【事前予約不要】

- 第1回 6月10日(日)10:00～15:00(予定)
- 第2回 7月8日(日)10:00～15:00(予定)
- 第3回 8月19日(日)10:00～15:00(予定)
- 第4回 10月20日(土)10:00～15:00(予定)

キャンパスツアー【事前予約[FAX]】

- 平成30年
- 第1回 4月14日(土)10:30～12:00(予定)
 - 第2回 5月12日(土)10:30～12:00(予定)
 - 第3回 9月22日(土)10:30～12:00(予定)
 - 第4回 11月24日(土)10:30～12:00(予定)
 - 第5回 12月8日(土)10:30～12:00(予定)
- 平成31年
- 第6回 1月26日(土)10:30～12:00(予定)
 - 第7回 2月23日(土)10:30～12:00(予定)

※松戸歯学部ホームページトップ画面「News」欄に掲載。

場所

松戸歯学部内特設会場



内容

- 【学部概要説明】 学部の概要説明を実施します。
- 【個別進学相談】 入試のための個別相談を実施します。
- 【資料の配布・展示】 一般入試過去問題、本学入学案内、日本大学進学ガイドなどの配布。学修便覧、シラバス、国家試験合格状況などの展示をします。
- 【模擬講義】 本学部教員による講義を体験できます。
- 【う蝕治療体験】 実習を通じて歯科医師体験ができます。
- 【施設見学】 付属病院、歯学史資料室、実習室、教室などの見学を予定しています。
- 【在校生相談】 現役学生が学生生活に関する質問に答えます。

問合せ 【庶務課】TEL. 047 (360) 9567

Access

- 松戸駅(JR常磐線快速(上野東京ライン)・各駅停車(東京メトロ千代田線直通)・新京成電鉄)：西口2番バス乗り場(京成バス)「日大歯科病院」行きバス終下車(乗車時間約15分)
- 南流山駅(JR武蔵野線・つくばエクスプレス)：南口バス乗り場(京成バス)「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車(乗車時間約20分)もしくは「日大病院入口」下車(乗車時間約15分、徒歩約5分)
- 北松戸駅(JR常磐線各駅停車)から徒歩約20分

